

2021 年度小松教区 寺族研修会 A

和国の教主

～親鸞聖人にとっての聖徳太子～

[日 時] 2021/12/25(土) 15:30～17:30 (受付 15:00～)

[会 場] 小松教務所 常磐会館 (小松市小馬出町26)

[講 師] 鶴見 晃 氏 (同朋大学教授)

[参加費] 500 円 ※当日受付にて納入ください

[対 象] 住職・教会主管者・僧侶・坊守・一般

[定 員] 50 名 ※定員になり次第締め切り

[携行品] 『真宗聖典』、念珠、筆記具、マスク、
※僧侶は、間衣、輪袈裟を着用のこと

[申込み] 12/17 までに、下記問合先まで氏名・連絡先を
ご連絡ください。

[その他] 裏面の趣旨文もご確認ください。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況に
よっては、中止となる場合があります。

[主 催] 小松教区教化委員会 寺族教化部門

[問合先] 真宗大谷派 小松教務所(担当 西山)

TEL : 0761-22-0555 FAX : 0761-22-0529

E-mail : komatsu@higashihonganji.or.jp

日程

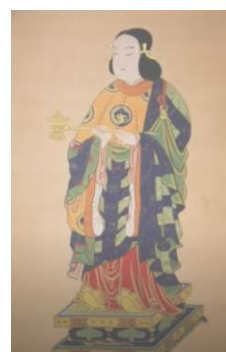
15:00 受付開始

15:30 開会式

15:45 講義

17:15 質疑応答

17:30 閉会式



聖徳太子影像
(東本願寺蔵)

キリトリ

2021 年度 寺族研修会 A 「和国の教主」 申込用紙

氏名		所属	
連絡先	〒 -	TEL	()

趣旨文

2021年は、親鸞聖人が「和国の教主」と仰がれた聖徳太子の千四百回御忌にあたり、4月には、本山でも聖徳太子千四百年御忌法要が厳修されました。これを機縁として、この度、寺族教化研修会においても「聖徳太子」について学びたいと思います。

親鸞聖人は「皇太子聖徳奉讃」を作られて「和国の教主聖徳皇/廣大恩徳謝しがたし/一心に帰命したてまつり/奉讃不退ならしめよ」と讃えておられます。ですが、改めて「太子の廣大恩徳の内容とは？」と問うてみると、それは「和国の教主となられたこと」でしょうか。今一つ明確ではないように感じます。

また、『教行信証』の後序には、「また夢の告に依って、綽空の字を改めて、同じき日、御筆をもって名の字を書かしたまひ畢りぬ」と、聖徳太子の夢告について書かれています。磯長の夢告で聖徳太子が告げられた内容は「我三尊化塵沙界/日域大乘相応地/諦聴諦聴我教令/汝命根応十余歳/命終速入清浄土/善信善信真菩薩」(三夢記)と、なかなか難解ですし、六角堂の夢告については、三夢記と御伝鈔で親鸞聖人の年齢が異なって著されており、真実が知りたくなります。

一方、日本史の教科書を見てみると、「十七条憲法の制定」や「塔・仏殿を焼いた物部守屋と戦い仏法を守る」といった聖徳太子の功績が色々書かれています。が、「こういった聖徳太子の歴史的功績は、親鸞聖人にどのように影響しているのだろうか」という疑問も出てきます。

こうした様々な疑問に光を当てるべく、今回の寺族研修会「和国の教主—親鸞聖人にとっての聖徳太子—」を企画いたしました。

皆々様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

(寺族教化部門実行委員：翫 千亜紀)

下記項目をご確認のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めてご参加ください

- 発熱・体調が優れない場合は、参加を控えてください
- ハンカチは必ず持参してください
- マスクは必ず着用してきてください
- 発言の際も、マスクは外さずにお勤めしてください
- 入場時、退場時には必ず手洗いや手指の消毒を行ってください

2021年度小松教区寺族研修会 A
「和国の教主～親鸞聖人にとっての聖徳太子」

[主 催] 小松教区教化委員会 寺族教化部門

[問合せ先] 真宗大谷派 小松教務所(担当 西山)

TEL：0761-22-0555 FAX：0761-22-0529

E-mail：komatsu@higashihonganji.or.jp